

長寿のお祝い

山里 将之

みなさん、こんにちは！
貝塚聖書教会の山里将之です。

9月の第三月曜日は敬老の日。もともとは9月15日と日付が決まっていたようで、それがハッピーマンデーの導入によって今日の日取りになったのが2003年（ハッピーマンデーそのものは2000年から）。貝塚聖書教会ではこの敬老の日にちなんで9月の第三日曜日に長寿祝福式を行うようになりました。もしかすると他の教会でも同じ取り組みがなされているかも知れませんね。

敬老の日に先立っての第二週の土曜日、日付でいうと9月9日、第二回「貝塚寄席」として落語会を行いました。去年、2022年、コロナが少しずつ落ち着いて、「そろそろ教会に人々を招く催しができるようになったかな・・・」という様子を踏まえ、久しぶりの伝道集会¹としてお試しで落語会を開催してみました。キリスト教会と落語会という組み合わせは珍しいと思うのですが、やってみるとそこそこ好評でした。それで、今年もやってみよう、という事に。ゴスペル亭パウロ＝小笠原浩一さんをお招きし、福音落語を楽しく拝聴いたしました。



日本のことわざに、古くから「笑う門には福来たる」とか、「笑いは百薬の長」とあるように、笑うということの大切さ、また健康への良い影響などが知られていますね。聖書のストーリーを題材とした落語を聞き、ともに笑う。肉体の健康が長生きの大切な要素であることはもちろんなんですが、何よりも心の健康、そして魂の健康というべき信仰の在り方、神様との向き合い方が、笑顔のうちに整えられていく。そんな気持ちにさせて頂けた一コマでした。

一週間経っての9月17日の日曜日は、長寿祝福式の「本番」。私たちの教会では、驚くなかれ、80歳以上が祝福者としての対象です！ もともとはもう少し若い基準だったのが、少しずつ延長されて今に至りました。貝塚聖書教会で長寿祝福式に与るためには文字通り長生きせなあかん・・・のです。礼拝の後、お赤飯を主催とした愛餐会。中学生たちも加わって、老いも若きも一同に会し、そこそこにぎやかな祝福式でした。

いのちの主なる神様にともに感謝した一日。あなたにも祝福が豊かにありますように。

¹ ひろくノンクリスチャンの方々を教会にお招きしてキリスト教を伝える催しのひとつ。いわゆる“布教活動”の一貫。キリスト教会では“布教”よりは“伝道”という表現を好む方が少なくないです。